

## 大月市総合計画の経過

大月市では、総合計画を昭和35年3月の「大月建設計画」から平成19年3月の「大月市第6次総合計画」まで6回策定しております。

### ・昭和35年3月 「大月建設計画」策定（昭和35年度～昭和44年度）

- 方針
1. 地域の生産力を高め、それに伴って社会文化生活をどのように豊かにしてゆくかにある。従ってこの計画は住民の所得及び生活水準の向上に関する計画が原点となり各種産業の振興に関する計画と施設の整備に関する計画が各々有機的で総合的に組み合わせなければならない。
  2. 国、県との連繫を保ち、当地域にかかわる各種の開発整備振興等に関する計画との調整を十分に行う。
  3. 住民の福祉が各地域各業態を通じて相互に均衡を保って増進され市の融和と一体的な発展がなされるように努める。
  4. 市行政と地域内の公共団体、産業経済団体、教育団体等の諸活動諸事業との間は連繫を保つよう配慮する。

### ・昭和47年3月 「大月市基本構想」策定（昭和47年度～昭和56年度）

- 将来図
1. 社会経済の将来像 本市は、首都と県都甲府市のほぼ中間地点の好立地条件に加え、近年国鉄中央線の複線化、中央高速自動車道大月インターチェンジの設置等により、首都との時間短縮が大幅に短縮され工業の西進傾向が顕著に見られる。このため、地域の特性に応じ、しかも公害のない労働集約型工業との調和をはかりながら積極的に受け入れ、県外に流出する若い労働力、農林業の近代化による余剰労働力を受入れ、経済力豊かな工業立市を目標とする。また四季を通じて風光明媚な自然を保護し、雄大な自然を背景とした観光レクリエーションの場として、あるいは近代的生活環境の整備をすすめ、生活水準の向上をはかり、人間創造と安住の場としての大月市を建設する。

### ・昭和56年5月 「大月市総合計画」策定（昭和56年度～昭和65年度）

- 目標 「雄大な自然のなかで生活と生産の調和した人間都市」  
ゆとりある豊かなふるさと大月市をめざして都市づくりを推進するものとする。

- 施策の大綱
1. 自然と調和した住みよい環境の創出
  2. 郷土に適した活力ある産業の展開
  3. 市民社会にむすばれる幸せと健康の増進
  4. 明日を築く創造力と心の高揚
  5. 自治意識にねざす近代的行政の推進

### ・平成2年3月 「大月市新総合計画」策定（平成2年度～平成12年度）

将来像 生活先進都市 おおつき ～うるおいとゆとりある未来をめざして～

- 施策の大綱
1. うるおいのある住みよい生活環境づくり
  2. 調和のとれた活力ある地域経済づくり
  3. すこやかで心ふれあう福祉社会づくり
  4. 明日を築くみのりある生涯学習都市づくり

- 計画推進の方策
1. 市民参加による行政の推進
  2. 行財政の効率的運営
  3. 広域行政の推進
  4. 民間活力の導入

・平成 8年8月 「大月市第5次総合計画」策定（平成8年度～平成22年度）

- 基本理念
1. 自然と共生する暮らしづくり
  2. 個性豊かな地域の顔づくり
  3. 広く結び連携する地域づくり

将来像 自然と共生する環境調和都市 ハーモニックタウン おおつき

- まちづくりの大綱
1. 人と環境にやさしい快適なまち
  2. 健康でおもいやりのかよう福祉のまち
  3. 魅力的で活力に満ちた産業のまち
  4. 創造的で心豊かな人と文化のまち

・平成19年3月 「大月市第6次総合計画」策定（平成19年度～平成28年度）

基本理念 「信頼と協働のまちづくり」

将来像 郷土に愛着と誇りを持ち、豊かな自然の恵みを生かし、一人ひとりにやさしく、安全で安心して、健康で住み続けることのできる活力あるまち

目指すべきまちの姿

基本目標

1. 信頼と協働でささえあうまち
2. 大月市の良さを生かすまち
3. 豊かさを実感できるまち
4. 安心・安全を実感できるまち
5. 住みやすく人が住み着くまち

目指すべき行政の姿

基本目標

1. 信頼される行政経営を行う
2. 堅実な行政経営を行う
3. 無駄のない行政経営を行う